

ディボーション質問表

5日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

6日(月) 士師記 15:1~20

1. 妻を取り戻せない事の腹いせにサムソンはペリシテ人の麦畑を荒らしました。このことに対してユダの人はペリシテ人の報復を恐れ、3000人でサムソン捕獲に乗り出しました。この時の彼らの気持ちを想像して下さい。あなたは最近神の許した試練に対して、心くじけていませんか。
2. ペリシテ人の前に引き出されたサムソンは自分で縄目を切りましたが何の武器も持っていませんでした。そこで神は「ろばのあご骨」を使わせました。つまらなく見えるものでも神によれば、素晴らしい武器になります。あなたにとっての神から与えられた武器は何でしょうか。つまらないものでも神が使われることを信じましょう。

7日(火) 士師記 16:1~17

1. サムソンはガザで遊女と交わり、その後ソレクではデリラと同棲しました。しかし、彼は神に用いられました。このことについてあなたはどのように感じますか。
2. サムソンを縛った弓づる、綱、機おさはいとも簡単に引きちぎられました。しかし、ナジル人としての誓願を破ったときに力は失われました。あなたがナザレナイエスから離れるとき、サムソン同様この世に対抗する力は失われます。我々を縛る外側の規制(政治や経済や社会)以上に自分の内心の状態が大切な事を再確認しましょう。今自分のうちにある聖霊の示しを遮って妥協していることはありませんか。

8日(水) 士師記 16:18~31

1. サムソンの生涯最後の場面です。この箇所とキリストの生涯の最後で似ていることは何かありませんか。彼の人生にある神の意図を何か読みとってみてください。
2. 目をえぐりだされ、奴隷状態にされていたサムソンの心には、どんな変化が生じていたと感じますか。あなたが人生の逆境の中で発見したことや、その時の気持ちを記してみましょう。

9日(木) 士師記 17:1~13

士師記17章から21章は、さばきつかさ(士師)たちの物語とは全くちがう付録です。ここには外国との戦いの記録はなく、国内の問題が載っています。神さまを中心とした生活はなく、不法と抗争に満ちていて、17章6節は人々が自分勝手に生きていた当時の社会状況を述べています。

ミカの家騒動

1. ミカは自分が親の金を盗んだことを告白し、赦しを得ました。しかし、その後の母の提案には同意しませんでした。なぜだと思いますか。また、あなたは自分を赦してくれた相手の提案であったとしても、「間違いは受け入れない」という態度を保っているのでしょうか。
2. このレビ人の若者とミカは家族同様にになりました。あなたの周りにそのような信仰の友がいれば大切にしましょう。そのために今日何ができるのでしょうか。

10日(金) 士師記 18:1~13

身勝手な者になったダン族

1. ダンは自分たちの未熟さと不信仰によって、神さまからの相続地(ヨシュア19:41)を十分に得ることができていませんでした。そこで、どこか良い土地はないか求めていました。
 - a. 皆に尊敬されていたレビ人と共に住むことになって、喜んでミカに対して、ダンはどのような無言のメッセージを投げかけましたか(14、20節)?
 - b. ミカの喜びであったものを奪われたミカに対して、ダンは何と言いましたか(22、26節)?
 - c. ダン族が攻めた街には、どのような人々が住んでいましたか(7、8、27節)?
 - d. ダン族は霊の支えとして何を建てましたか(31節)?
2. この物語から何を学ぶだろうか? ダンのような卑劣さと身勝手さに任せて生きていますか? 卑劣で身勝手なことをされたなら、私はどうするだろうか?

11日(土) 士師記 19:1~21

不親切で邪悪なベニアミン族

1. 暴動事件の発端となった事柄は何ですか? そのような事柄が起こった当時の道徳基準はどの程度ですか?
2. レビ人の若者は、どのような人格者ですか(7、13節)?
3. ギブアの人たちの親切度ほどの程度ですか? 14、21節(親切にした老人もただの滞在者で、街の人ではありませんでした。) →親切な老人から学べる事は何だろうか?